

なぜトイレ？

SDGsの目標6は、
すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を
確保することをめざしています。国連のレポートによると、
2015年時点で、世界の人口のおよそ6割である44億人が
安全に管理されたトイレを利用できず、
約8億9200万人は屋外排泄を続けています。
私たちが普段何気なく利用している安全な水とトイレは、
世界ではまだ十分に普及していません。

特集

「SDGs」 って何？

最近よく目にするようになった「SDGs」
国連で採択された全世界共通の目標で、
国際的に注目されています。
これからのグローバル社会で働くには
必須の知識と言っても過言ではない
「SDGs」のことを知り、
ステップアップを図りましょう。

何を

めざして
いるの？
わたしたちと
どう関係
するの？
わたしたちにできる
SDGsの
取り組みは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です

SDGsについて知ろう

「SDGs」(エスディー・ジーズ)は、どんな考え方に基づいて定められたのか。SDGsの原則と採択にいたるまでの経緯、そして私たちはどう向き合えばいいのか、国連広報センターの根本がおる所長に伺いました。

根本がおる (ねもと・かおる)

国連広報センター所長。テレビ朝日を経て、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)、国連世界食糧計画広報官、国連UNHCR協会事務局長などを歴任。フリージャーナリストを経て13年8月より現職。



Q.1 「SDGs」の概要を教えてください。

A 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の頭文字を取ったものです。「エスディー・ジーズ」と読みます。2015年9月の国連サミットで採択された、30年までに達成

をめざす世界共通の目標です。17の目標があり、それを具体化した169のターゲットで構成されています。達成度を測るためにおよそ2300のインディケーター(指標)があり、国連本部で統計データを集め、分析して、毎年リポートにまとめています。

Q.2 SDGsはどのように必要なの？

A SDGsの前身として、01〜15年の15年間で達成をめざしたMDGs(ミレニアム開発目標)がありました。主に途上国の社会開発が目標で、世界の貧困人口が大きく減少するなど一定の効果がありました。一方で、21世紀に入り、これまでにはなかった様々な課題が顕著になってきました。

例えば、地球温暖化などの気候変動や各国内での格差の広がりなど、私たちの生活にも多くの影響が出ています。これらの地球規模の課題への対応を迫られる中で、MDGsの次の15年を担う新たな目標づくりが始まりました。先進国も含めた全世界共通の課題とするとともに、個々の課題が他の課題と密接に関連しあう不可分性が意識されています。

Q.3 SDGsはどのような決められたの？

A 通常、国連での方針などの策定は、加盟国政府や国連の代表、SDGsは、この過程を国連で初めてオープンにしたのです。約3年間をかけて、様々な立場からの意見を集約

してきました。同時に、関心のある誰もが参加できるようにオンライン調査を実施し、世界中から延べ1千万人以上が参加しました。これは、これまでの国連にはない画期的なことです。SDGsは、政府や国連の代表のみならず、世界中の人が関わって決められたという意味で、「世界目標」と言えるのです。

Q.4 SDGsは日本ではまだあまり知られていませんか？

A 認知度はおしなべて男性で高くなっています(図表2)。「SDGs経営」「ESG投資」などの言葉が示すように、ビジネスの文脈でSDGsに触れるという人が中心なのが原因と

考えています。暮らしと密接に関わる身近なもののだと、積極的に伝える必要性を感じています。SDGsは、普段の取り組みを位置づける地図とも捉えられます。例えばモバイルを持つ、地産地消を心がける、食材を使い切るなどもSDGアクションです。個々の力は小さくても、みんなが取り組めば大きな力になります。

広い視野を身に付けるための学びにも、SDGsは適しています。実際に、都内の高校生が学ぶうちに自ら行動を起こし、大手清涼飲料水メーカーにリフィルのできる自販機の開発を提案しに行くなど、活動を発展させています。

図表1 17目標の関係性

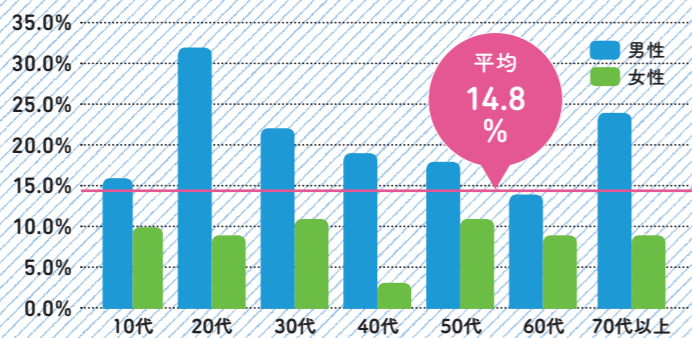
17の目標を3層に分類し総合的に捉える図表「SDGsウェディングケーキモデル」。「経済」は「社会」に、「社会」は「環境」に支えられて成り立つ。(書籍『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』より提供)



illustrated by Johan Rockstrom and Pavan Sukhdev

出典: Stockholm Resilience Centre
http://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html

図表2 「SDGs」という言葉を知っている ※電通「SDGsに関する生活者調査」



Q.5 学生や若者にメッセージをお願いします。

A 現代は、SNSの発達などで一人ひとりの持つ力が大きくなっていきます。誰かが決めた結果を受け取るだけでなく、自ら情報を集め、考え、物事の決定過程に主体的に関わってもらいたいです。SDGsは「誰も置き去りにしない」が原則の世界目標です。めざす社会に向けて、SDGsを上手に使って、どんな行動を起こしてください。

「持続可能な開発」の歴史

年	出来事
1972	国連人間環境会議「人間環境宣言」(ストックホルム宣言)採択。環境問題の議論が国際的規模ではじまる
1980	「世界自然資源保全戦略」発表。国際的な公式文書ではじめて「持続可能な開発」の概念が示される
1987	環境と開発に関する世界委員会(ブルントラント委員会)報告書「われら共有の未来」で「持続可能な開発」を提言
1992	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)「リオ宣言」「アジェンダ21」ほか採択。「持続可能な開発」の概念を発展
2000	国連ミレニアム・サミット採択された「国連ミレニアム宣言」とこれまでの国際開発目標を統合し、「MDGs(ミレニアム開発目標)」を策定
2002	持続可能な開発に関する世界サミット(ヨハネスブルク・サミット)ESD(持続可能な開発のための教育の10年)を提案
2012	持続可能な開発会議(リオ+20)MDGsの後継としてSDGs策定を確認
2015	国連持続可能な開発サミットSDGsを含む「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」を採択
2016	日本政府が全閣僚参加の「SDGs推進本部」を設置
2030	目標到達

Action!

目標到達

「SDGs」は、17の大きな目標と、目標を達成するための具体的な169のターゲットから成り立っています。その中から3つの目標を取り上げて具体的に見ていきましょう。

SDGsにはどんな目標があるの？

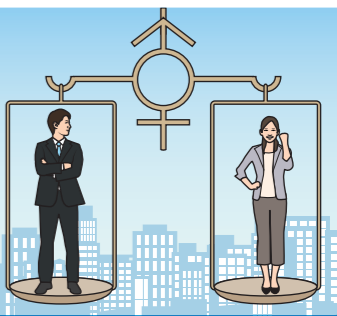


ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る。

【ターゲット例】

- 性的な暴力や虐待など公私におけるあらゆる女性差別の撤廃
- 未成年者の結婚・強制結婚など有害な慣行の撤廃
- 家族内における責任分担を通じた、無報酬の育児・介護や家事労働の評価
- 政治・経済・公共分野での意思決定における完全な女性の参加とリーダーシップ機会の確保
- 土地や財産など経済的資源に対する平等なアクセスの確保
- 目標達成に向けた政策と拘束力のある法律制定の推進 など



働きがいも経済成長も

すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する。

【ターゲット例】

- 一人あたりの経済成長率の持続(途上国は年7%以上)
- 雇用創出、起業、生産性向上、技術革新を促す政策の実施による中小企業の成長の奨励
- 良質な教育・訓練機会の提供
- 完全で生産的な雇用とディーセント・ワーク、同一労働同一賃金の達成
- 強制労働の根絶、人身売買・児童就労の撲滅
- 労働者の権利保護と安全・安心な労働環境の促進 など



平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。

【ターゲット例】

- 虐待、拷問などを含めあらゆる暴力の撲滅
- 違法な資金・武器取引の大幅な減少、組織犯罪の根絶
- 意見表明の自由の保障と自らの生活にかかわる決定への参加、情報への公共アクセスの確保
- グローバル・ガバナンス機関への開発途上国の参加拡大
- 持続可能な開発のための非差別的な法規・政策の推進 など



特集 「SDGs」って何？

わたしたちに行けるSDGsの取り組みは？

SDGsを進めるために、私たちにはどんなことができるでしょうか。日本で活動している団体の取り組みとともに私たちが今すぐにできる具体的な行動を紹介します。今日からSDGsに取り組んでみませんか。



「もったいない」から「ありがとう」へ —フードバンクふじのくに—

認定NPO法人
フードバンク
ふじのくに
事務局次長
鈴木和樹
(すずき・かずき)



日本では、年間約634万トンの食品ロスがあります。これは日本人1人当たりでお茶碗1杯分の食べ物が毎日捨てられている計算です。フードバンクは、まだ安全に食べられる食品を個人や企業から寄贈してもらい、要支援者や福祉施設に提供する仕組みです。

生活困窮者への直接支援が一般的ですが、「フードバンクふじのくに」は食品を支援団体に届ける間接支援型で、フードバンクを地域の仕組みにすることをめざしています。

具体的には、労働者福祉協議会(労福協)や連合静岡、生協、NPOなど県内の様々な団体と共に活動しています。考え方の違いから、設立趣意書を作るのに半年以上議論を重ねましたが、そのおかげでゴールを共有でき、今では年間60トンを超える取り扱い量です。

先日、県の労福協窓口に食料を求める人が訪れたそうです。担当者はすぐに地域の社会福祉協議会に連絡し、希望者が食料を受け取れるよう手続きを進めてくれました。これまでフードバンク事務局が

担ってきた役割を地域の人が自然と行ってくれ、活動が根付いてきたと実感しました。この他にも県内ではスーパーマーケットや自治体だけでなく、地域のお寺にまで食品寄贈を呼びかけるチラシや回収ボックスが置かれています。

地域の団体・企業・行政・個人を巻き込み、得意分野で関わってもらうことで、活動が広がってきました。無理せず、負担のない範囲で助け合うのを当たり前にしていくことが大事だと思っています。みなさんにも自分の興味や

感性を大切に、「助け合い」の一步を踏み出してもらいたい。そんな社会こそ、SDGsの掲げる「持続可能性」に繋がらないでしょうか。

①労働者福祉に関わる事業団体を構成する労働者福祉活動の組織
②連合(700万人の働く仲間)で組織する労働組合のナショナルセンターの地方組織



集まった支援物資を支援先に届けるためのトラックに積み込むボランティアも多数活躍。



チョコレートの裏にある 児童労働の可能性 —特定非営利活動法人 ACE (エース)

特定非営利活動法人
ACE代表理事
岩附由香
(いわつき・ゆか)



世界の児童労働者数は、国際労働機関（ILO）の推計によると、2017年時点で1億5200万人です。世界の子どもたち全員が1組40人のクラスだとすると、約4人が生活のために労働し、学校に通っていません。

1997年、学生仲間5人で立ち上げたACEは現在、インドのコットン、ガーナの力カオ生産地において児童労働撤廃に向けて活動しています。現地団体と協力しながら、女性差別や保護者の労働環境問題など、地域の実情に合わせた支援をしています。

近年、サプライチェーンの透明化は企業にとって急務の課題と言われています。児童労働の存在に対しても社会から厳しい目が向けられるようになりまし。しかし、日本

で気軽に手に入るチョコレートや安価なファッションの背景には、学校で教育を受けられず、時に危険・有害な労働に従事する子どもたちの存在が依然としてあります。

こうした中、SDGsのターゲット8・7に、「2025年までにあらゆる形態の児童労働を撤廃する」とはつきり明記されたことで、これまで自分たちが思い描いてきたものが世界共通の目標となりました。社会全体で児童労働問題を解決するというビジョンがクリアになったのです。

インドの人権活動家でACE設立のきっかけとなった「グローバルマーチ」主導者カイラーシユ氏が来日した際「失敗を恐れず、小さな成功を喜ぼう」と提唱しました。どんな小さな行いも、必ず社

会を変える一歩となります。日本の若い皆さんには、自分の力を信じて、できるところからアクションをはじめてもらいたいと思います。

最近ではフェアトレード商品も手に入れやすくなっています。チョコレートを購入する際などに、商品がどのように作られたのかを少し気にかけるだけでも、社会全体の意識が変わってくるのではないのでしょうか。

児童労働の反対を呼びかけるために行進する世界的運動



インドのコットン生産地で住民と話し合うACEの岩附代表。

SDGsを 実践するための キーワード集

食品（フードロス）

売れ残りや食べ残し、期限切れ食品など、本来は食べられるはずの食品が廃棄されること。廃棄や損失の原因は多様で、生産、加工、小売、消費の各段階で発生する。

フェアトレード

発展途上国で作られた作物や製品を公正な価格で取引することによって、企業や地主などから不当な搾取を受けている発展途上国の人々の経済的・社会的な自立を支援する考え方。オルタナティブ・トレードとも呼ばれる。

サプライチェーン

サプライは供給、チェーンは連鎖の意味。製品の原材料が生産されてから消費者に届くまでの一連の過程のつながりのこと。近年、欧米諸国ではサプライチェーンの透明化を義務付けるなど、商品製造の全過程に対して社会的責任を果たす動きが進んでいる。



マイボトルを
使おう

ディーセント・ワーク

働きがいのある人間らしい仕事のこと。1999年に国際労働機関（ILO）総会で、21世紀の目標として提案された。「ディーセント（decent）」は英語で、「きちんとした」「まともな」の意。

Global Goals グローバル・ゴールズ

SDGsの通称。ツイッターのハッシュタグ「#GlobalGoals」など、SDGs達成に向けた意見表明や具体的なアクションをSNSで共有する動きもある。

私はこんなことに
取り組んでいます！

- ゴミの分別を
しっかりする
- 洗う物をする時、
洗剤はキッチンペーパーで
先に拭き取る

表紙の人
土屋太鳳さん



持続可能な社会のために 労働組合ができること

—イオングループ 労働組合連合会

イオングループ
労働組合連合会
国際局長
村上哲朗
(むらかみ・てつろう)



イオン（株）は、アジアを中心に52万人の従業員を抱えるグローバル企業です。2011年には、中期政策として「アジアシフト」を打ち出し、アジアへの事業展開を加速させました。イオングループ労働組合連合会（イオン労連）は、会社の健全な成長と従業員の働きがいを基軸とした生きがいの実現を理念として掲げ、組合員の幸せ実現へ向けて活動を進めています。11年から

は、「アジアシフト」を期に、各国のイオンで働く従業員と連携する活動を開始しました。14年には、イオン労連、UAゼンセン、UNIGローバルユニオン、イオン（株）の4者間で「グローバル枠組み協定」を締結しました。イオングループの理念は「お客さまを原点に平和を追求し、

人間を尊重し、地域社会に貢献する」です。理念の実現に向けて、会社だけではなく、労働組合も共に社会的責任を果たすという考えの下、日本企業ではまだ事例が少ない、この協定を締結しました。協定には、4者が互いにパートナーとして認め合い、それぞれの立場から協力し合うことが明記されています。

取り組みの一つとしてイオン労連は、14〜15年にインドネシアで現地経営陣と協力し、全従業員を対象に、「自分たちの職場は自分たちで善くする」ための活動として、職場の課題解決スキルを高めるワークショップを実施しました。職場の問題について従業員から声を集め、その問題の原因分析と改善案を策定し、実際に経営陣と協議し、結果を従



インドネシアでの経営者を交えたワークショップ。労使が協力して課題解決に取り組む。

1 国民生活に関連する多種多様な産業で働く仲間を組織する日本最大の産業別労働組合
2 サービス産業労働者を代表するグローバルユニオン